

本時のねらい

友だちからのアドバイスをもとに、前時までに作成した「トマトの成長解説ムービー」をより伝わりやすくすることができる。
クラスのみならず解説ムービーを共有し、友だちの解説ムービーの良さや工夫を自分の言葉で伝えることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

国語科で学習した「説明の仕方の違い」を活用して、生活科で育てたトマトの成長について、「トマトの成長解説ムービー」を作成することをねらった。
友だちが作成した、「トマトの成長解説ムービー」を視聴し、その工夫の良さを交流することで、自分の解説ムービーをより良くすることをねらった。

1人1台端末を活用することで、自分で撮影した写真や動画・音声等のデータを簡単に挿入・編集しながら、成長の記録を作成することができる。
また、相手に見せる際には、テレビを必要とせず、振り返りや共有等も1台で完結することが可能であることから、本時での活用を設定した。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・マイク付きイヤホン ・動画編集ソフト (iMovie) ・学習支援ソフト (ロイロノート)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返りを確認し、できたことを本時でできるように再認識する。 ○本時のめあてを確認し、学習の見通しを持つ。 「クラスのみならず解説ムービーを共有し、友だちの解説ムービーの良さや工夫を自分の言葉で伝えることができる。」 <p style="text-align: right;">【写真1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに児童が作成した作品を何点か全体で紹介することで、参考となる部分を自分の作品に活かすよう伝える。
展開 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○成長解説ムービーを友だちと見せ合い、話し合うことで友だちの作品の工夫した点や良さを交流する。 ○友だちから受けたアドバイスをもちに、成長解説ムービーを修正する。 <p style="text-align: right;">【写真2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動画編集ソフト (iMovie) で作成している成長解説ムービーに写真とアフレコを挿入するタイミングにずれが生じないように、注意して録音するよう伝える。
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○完成した成長解説ムービーをロイロノートに提出する。 ○成長解説ムービーをクラスで共有し提出する。 <p style="text-align: right;">【写真3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成長解説ムービーを共有する際には、学習支援ソフト (ロイロノート) の提出ボックスに提出する。 ・「回答共有機能」を使用し、子どもたちがクラスの友だちと振り返りを瞬時に共有することでより活発な交流につなげる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1: 前時に受けたアドバイスを振り返るとともに、本時のめあてを確認する場面。



写真2: 友だちから受けたアドバイスをもちに、成長解説ムービーをより良いものとなるよう修正している場面。



写真3: 完成した成長解説ムービーをロイロノートに提出し、回答共有機能を使いクラスで共有している場面。

児童生徒の反応や変容

トマトの成長過程を解説する動画を作成するために動画編集ソフト (iMovie) を活用した。紙上でまとめていくことに比べ、子どもたちの表現の幅が広がっただけでなく、加筆修正が容易になったことで、より効果的に相手に伝えることができた。また、友だちからのアドバイスも加え話し合いをしながら動画の編集を行うことで、子どもたち同士の繋がりが一層強くなった。

説明ムービーは分かりやすいか、写真や文章が流れるタイミングは合っているかなど、相手が理解しやすいように工夫しながら作り上げていく姿が、本単元の最後に見られた子どもたちの大きな変容と言える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

動画編集ソフト (iMovie) を使うことで、子どもたち自身が主体的に動画を使って自己の学びを発信しようとしていた。また、限られた時間の中でも友だちの作品の良さや工夫を取り入れながら再編集ができたので、子どもたちにとっては楽しみながら活動に取り組めたのではないかと考えている。